

2021年5月25日

報道関係各位

公共交通オープンデータ協議会

## 横浜市交通局の市営バスリアルタイム位置情報・混雑情報の Google マップへの掲載開始について

公共交通オープンデータ協議会（会長：坂村 健 INIAD 東洋大学情報連携学部 学部長）は、公共交通オープンデータセンターを通じて、横浜市交通局の運行する市営バスのデータの GTFS リアルタイム形式での提供を開始しました。本対応により、路線検索に際して 2021年5月25日より Google マップ上にバスのリアルタイムな位置情報と混雑情報が掲載されるようになります。

公共交通オープンデータ協議会には、首都圏の多数の公共交通事業者や ICT 事業者が参画し、公共交通データのオープンな流通のためのエコシステム創生に向けた活動を行っています。2019年5月より公共交通オープンデータセンターの運用を開始し、様々な公共交通事業者のデータを ICT 事業者や一般の開発者に提供してきました。

横浜市交通局は、2020年8月より、市営バスの位置情報に加え混雑情報についてもオープンデータ化し、公共交通オープンデータセンターを通じて、GTFS-RT 形式で配信を行ってきました。今回、混雑情報を含むリアルタイム情報が Google マップに掲載されることにより、With コロナ・After コロナの時代における、密を避けた移動にも貢献が期待されます。

公共交通オープンデータ協議会は、多様なデータ利用者と多数の公共交通事業者を結ぶデータ連携プラットフォームである公共交通オープンデータセンターの運営を通じて、日本のモビリティ分野の DX（デジタル・トランスフォーメーション）を実現することを目指します。

以上

[問い合わせ先]

公共交通オープンデータ協議会事務局（YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所内）

担当：柏、山田 電話：03-5437-2270、E-mail：odpt-office@ubin.jp

< 補足資料 >



図 1

～ 公共交通オープンデータ協議会 <https://www.odpt.org/> ～

公共交通オープンデータ協議会は、公共交通事業者およびICT事業者等90団体(2021年5月25日現在)で構成される、産官学連携の協議会です。鉄道、バス、航空、フェリーの分野において、公共交通関連データのオープン化に向けた活動を行っています。2019年5月より、鉄道、バス、航空、フェリーなどさまざまな交通機関のデータをワンストップで提供する「公共交通オープンデータセンター」の運用を開始しています。

